

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーE2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平岩基			実務 経験	有	職種	CM制作会社、広告代理店、映画会社				
授業概要											
「美」「心理」という視点からメディアコミュニケーション全般を学ぶ。											
到達目標											
映像クリエイティブのパターンを知ること、映像手法の引き出しを増やすことができる。映像の本質を知ること、業務遂行時により柔軟な対応ができるようになる。なぜその映像が生まれたのか、どのように利用されているのか。紹介する映像・資料を咀嚼し、自らの専門領域に応用できるようになる。											
授業方法											
毎回設定されたテーマ別に、アーカイブ映像を交えながら、「サンプル視聴」→「ポイントの整理」→「定着」を行う。基本的に座学であるが、積極的な参加を促すために「アンケート」「小テスト」などを適宜実施する。授業終わりに質問を受け付ける。											
成績評価方法											
学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業時数の4分の3以上出席しない者は、定期試験を受けることができない。遅刻・途中退出をしないこと。（正当な理由がある場合は、その旨、申し出ること）授業中に内部資料を扱うことがあるため、授業内容をSNSに書き込むことを禁ずる。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に提示する。											
回数	授業計画										
第1回	～第3回 3Bの法則映像における美人（Beauty）、映像における赤ちゃん（Baby）、映像における動物（Beast）										
第4回	タレント論(1) 子役子供でも一人前の俳優である										
第5回	タレント論(2) 外国人タレント外国人の特徴を生かす										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
放送芸術科	
映像リテラシーE2	
第6回	タレント論(3)素人素人にしかできない事
第7回	衣装論(1)衣装の役割映像における衣装について考える
第8回	衣装論(2)悪と戦う制服制服のバリエーションについて考える
第9回	メイクの効果について学ぶ
第10回	ブランディング企業価値を左右する「変える事、変えない事」
第11回	映像心理学(1)恐怖訴求お化け屋敷からホラー映画まで
第12回	映像心理学(2)射幸心訴囚は何故、宝くじを買うのか
第13回	映像心理学(3)比較、実証見れば解る事が映像の最大の特徴
第14回	ドキュメンタリー理論リアルとアンリアルの境目を探る
第15回	総復習